

ふくし ふれあい

CONTACT WITH WELFARE

2009
SUMMER
夏号
No.48

発行 熊本県労働者福祉協議会 発行者 手嶋一弘 編集者 吉永徹男 E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp
事務局 熊本市九品寺1丁目17-9 熊本県労働会館内 TEL 096-372-0915 http://kumamoto.rofuku.net/
FAX 096-372-0600

12月1日 目途の
ライフサポート
センター

設置準備委員会でさらに議論を 第1回地区労福協代表者会議を開く

熊本県労働者福祉協議会は、九州北部が豪雨に見舞われた7月25日に、熊本市リバーサイドホテルで2009年度第1回地区労福協代表者会議を開きました。

まず開会にあたり、手嶋県労福協会長が「本年12月1日



▲代表者会議であいさつする手嶋会長

目途にライフサポートセンターを立ち上げるために、各級機関の協力を得て取り組んでいます。現段階では最後の詰めに入っていますので、各地区労福協の皆様が英知をさらに結集してほしい」と訴えました。

引き続き、吉永事務局長から、5月18日の第43回通常総会以降の①活動日誌報告②主要活動報告がありました。

その後、各地区労福からの総会の開催状況、会員や家族と一緒に取り組んだファミリースポーツフェスタ、バス旅行などのレクリエーションや、夏祭りでのバーベキュー大会について、今日までの苦労話を含めての報告がありました。

会議は一泊2日で

続いて協議事項に入り、「1. 2009年度年間行事計画」については、(1)地区労福協代表者会議については、4ヵ月に1回開催の予定で、原則としては1泊2日の会議とし、コミュニケーションを十分に図り地域活動の活性化に努める。場合によっては、諸般の事情により1日だけのケースもありうる。

(2) 各地区労福協総会開催時期について(2009年3月28日の第3回地区労福協代表者会議での確認事項)①毎年6月までに開催する。②2009年度から実施。どうしても無理な地区労福協は、2010年度から実施する。(2009年各地区労福協総会開催状況は下記の表の通り)「2. ライフサポートセンター」(ワンストップサービスセンター)の設置については、(1)12月1日設置に向けて、ライフサポートセンター(ワンストップサービスセンター)設置準備委員会で議論を深める。

研究集会は10月6日に

熊本県労福協研究集會を11月の開催予定を前倒して、10月6日(火)に開き、関係各位に周知徹底を図っていく。「3. 残余財産の有効活用について」は、残余財産検討委員会と連携をとり、新会館建設に向けて議論を熟知する。「4. 第1回地区労福協代表者会議」のメイン議題として、(1)2009年4月から労働金庫と連携している「第2次気づきキャンペーン」の



▲相互に意思交換をする出席者

展開については、多重債務者救済運動を継続しつつ、高利のサラ金などを利用している組合員に労働金庫の低利な融資に借り換えを促し、家計を改善しようと呼びかける運動です。具体的には、今後の各地区労福協の取り組みとしては、①「お金の問題・第2次気づきキャンペーン」を掲げ、機関紙・誌、ポスター、チラシ、ホームページなどで啓発に努める。②「手引き」などを使つての学習などを通じて、相談態勢を作る。

以上のことを参加者全員で確認をしました。最後に、各事業体からの報告・提起については、労金から第2次気づきキャンペーンでの相談状況など、全労済からは退職前のセミナーの開催、地区推進委員の登録依頼、住宅生協からは販売状況、ユニオントラベル熊本、秋津レークタウンクリニック、労働会館からは、それぞれから現状報告がありました。

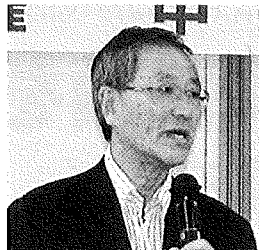
なお、前日の懇親会では日ごろの各地域での活動などについて意見交換をおこない、有意義な会議となりました。

荒・玉	鹿本	菊池	阿蘇	熊本	上益城	宇城	天草	八代	芦北	水俣	人吉
検討中	9/29 (予定)	7/2	6/23	7/28	7/24	6/5	6/8	6/12	検討中	6/18	6/26

中央
労福協
主催

6回目となる国内交流が埼玉で 先進地「ネットワークSAITAMA運動21」に学ぶ

今年度で6回目を迎える2009年度の「国内交流 IN さいたま」が、7月23日～24日に「彩の国」さいたま市浦和に全国から結集し、1日目は「埼



連合は結成して20年になるが、労福協は60年の歴史を持っている。今後の活動は未組織の皆さんとの連携だ。
(笹森会長)

玉県民健康センター」で、2日目は「浦和コミュニティセンター」で開催され、埼玉労福協のライフ・サポートセンターの取り組みについて学習を深めました。

交流会には全国から57人はじめ、地元埼玉県から22人、労働団体、各事業体、NPO団体などを含め約100人以上の参加となり、活発な意見交換がおこなわれました。

主催者を代表して中央労福協の笹森清会長の「連合結成20年、労福協60

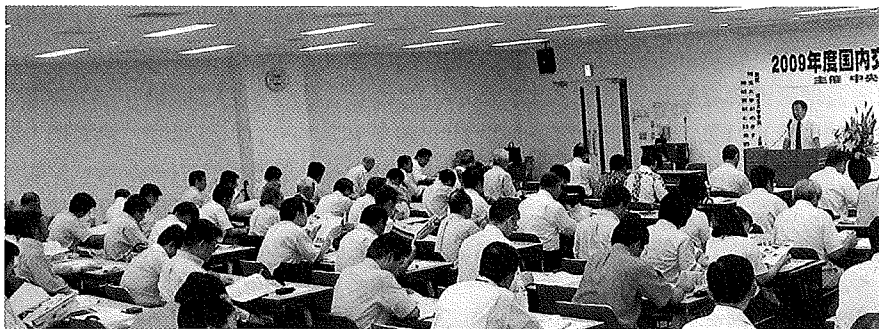
年になるが今後の活動は未組織労働者との連携が重要である」という言葉で始まり、片山修三埼玉県労福協理事長から観光案内をまじえた歓迎あいさつがありました。引き続き、埼玉労福協鈴木専務理事からDVD「労働組合の新しいカタチ」を上映しながら「ネットワークSAITAMA運動21」がめざすもの～労働運動・労福協運動の新たな創造の視点～ライフ・サポートセンター設立までの取り組みについて報告があり、併せて今後の課題についても提起がなされました。

また、活動・事例報告として「ふれあいコミュニティファンド」がNPO活動とどう共同しているのか、というテーマで①労働組合とNPOの異文化を乗り越えてさいたまNPOセンターの村田恵子専務理事、②ライフサポートステーション・ネット久喜とNPOの連携についてハロー・ハンディキャップタイム進藤敬子事務局長、③シニア

のためのインターンシップを体験してシニア人財バンク登録者の櫻井晟様が、それぞれの立場からユーモアを交えて意見発表がありました。

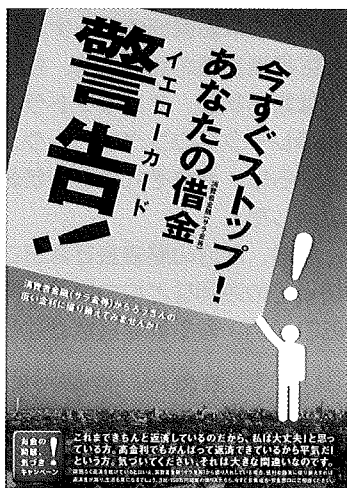
その後、埼玉労福協やNPOなどの報告を受けて、中央労福協の高橋均事務局長がコーディネーターとなり、パネラーとして、竹花康雄連合埼玉事務局長、吉沢邦雄埼玉労福協理事長代行、東一邦さいたまNPOセンター理事から「労働組合・労福協との協働のススメ」と題して、論議が交わされました。

国内交流2日目は記念講演が行われ、上井喜彦埼玉大学学長が「埼玉大学がめざす地域貢献と社会的役割」について講演、地域から「地域づくり」や「活性化」の模索が出てくる一方、法人化後の大学に求められる機能の変化、さらには「大学全入時代」への突入という中で、大学はこれまで以上に存在感を明確にし、内外にアピールする必要が増したことから、所在する地域に対する「地域貢献」に取り組むという観点から問題提起がありました。続いて、「地域と職場で労働運動の新たな創造を担うリーダーの育成」と題して、東部労福協「福祉リーダー塾」の概要について、大森東部労福協事務局長が講演しました。この2日間の報告や問題提起には、どのテーマも興味深く今後の労福協運動の糧になりました。



気づいてください。その金利!「第2次気づきキャンペーン」

第2次気づきキャンペーン
職場にチラシをお届けしています



「第2次気づきキャンペーン」は、中央労福協が2009年度活動計画の重点活動に挙げている「高利貸付の借換え運動の取り組み」を、ろうきんとの連携で展開していくものです。

多重債務問題への取り組みとして、ろうきん業態が取り組んでいる従来の「お金の問題! 気づきキャンペーン」とあわせて、高金利の消費者金融など2～3社を利用している組合員やその家族の方に対し、可処分所得の向上と多重債務に陥らないために、低金利のろうきん融資での一本化・借換えを促

進していきます。促進するにあたり「会員限定ライフ・サポートローン」「借換えローン」「エイド」「生活応援ローン」などの融資商品をそろえ、組合員の皆様の相談に対応しています。

消費者金融などから借りられている方で、「高金利でもこれまできちんと返済しているから大丈夫」という方もいらつしやると思います。しかし、気づいてください。それは大きな間違いなのです。

今すぐ労福協、もしくはもよりのろうきんにお気軽にご相談下さい。

創立50周年を機に選ばれる全労済を 全労済熊本県本部が通常総代会

全労済熊本県本部は7月30日、熊本全日空ホテルニュースカイで、第33回通常総代会を開きました。

松原理事長は「今年3月に創立50周年を迎えたが、文字通り大きく発展してきた。が、世界的な不況で大変な状況となり格差も拡大している。公助、自助だけでなく共助が必要となっており、全労済の役割が求められている。職域や地域での活動を再構築すると共に、選ばれる全労済となるよう努力していく」と述べました。

総代会は、藤澤専務が事業・決算報告を行い、監査報告と共に承認され、

第33回全労済熊本県本部 第51回熊本県労済 通常総代会



▲あいさつする松原理事長

また2009年～2010年度の事業計画、予算なども承認されました。

役員改選では一部の理事交代があり、引き続き松原理事長を先頭に全労済活動を推進していくことになりました。

住宅生協の今後のあり方、来年に提起を 新理事長に小山忠清氏（JP労組）

熊本勤労者住宅生活協同組合は、5月28日、熊本テルサで第46回通常総代会を開催、上米良理事長は「経済不況で全国の住宅生協も厳しい運営をよぎなくされている。住宅購入もローン

が組めない状況が生まれている。熊本住宅生協も来年、今後のあり方検討委員会で方向性を出すようにしているので、ご意見を出してほしい」とあいさつしました。

総代会は、今後のあり方をめぐって意見が出され、梅木専務理事が「素案を理事会で議論し、来年度の総代会で提案したい」と答弁しました。なお、新理事長に小山氏が選出されました。



▲小山新理事長



原点に返って顧客満足度アップに努める

ユニオントラベル 熊本の通常総代会 新理事長に後藤武幸氏（UIゼンセン 同盟熊本）

生協法人・ユニオントラベル熊本は、5月29日、県労働会館で第41回通常総代会を開催、合志理事長は「会員組合や役職員の努力により、収支剰余金を出すことができた。感謝したい。こ

れからも原点に戻り、顧客満足度アップのために努力していきたい」とあいさつ。浦本専務が事業・決算報告を行い、監査報告と共にこれを承認、また2009年度の事業計画、予算についても承認されました。

役員改選ではUIゼンセン同盟の後藤県支部長を新理事長に選ぶなど、新役員体制を承認しました。そして恒例の会員還元制度抽選会を実施しました。



▲後藤新理事長



煙

■熱狂的な支持を得た小泉政権は構造改革を推進すると共に、郵政解散、総選挙で圧倒的多数を得て改革路線をさらに推進した。が、この間、定率減税は廃止され、保険料や医療費は引き上げられるなど、国民の負担は増加した。加えて労働の規制緩和で、大企業に都合のいい非正規労働者が増え、年収200万円以下というワーキングプア層が増大した。そして経済不況により派遣切りの言葉に象徴されるように、労働者はカンタンに首を切られる状況となり、今や失業率は5.4%と深刻さが増した。

それだけではない、一極集中から大都市と地方の格差も広がり、労働も、教育も、就職も、至るところで格差が生まれ、言うところ



の「格差社会」となった。■この10年間の政治、経済、社会の大きな変化、格差拡大、雇用不安といった社会情勢の中で、中央労福協は「支え合い、助け合い、ぬくもりのある社会をめざす労働者福祉運動を」をスローガンに掲げ、全国で「ライフサポートセンター」の設置を、と福祉運動を地域に広げる活動方針を打ち出した。労働運動を推進する連合も「組合が変わる、社会を変える」をスローガンに、格差是正と政策制度要求を政府に求めている。■折しも4年ぶりとなる総選挙が8月30日投票で執行される。本紙が職場に届くころは選挙の結果が…。いずれにせよ、もう一度、皆が支え合い助け合う共助の社会の構築が必要だ。

『ろうきん』は働いている人のために、を考えて仕事を 自治労全国一般・労金労組が笹森会長を招いて学習会

自治労全国一般労金労組は、7月12日、組合員の親睦と学習会を兼ねて「労金労組熊本支部交流集会」を90人の参加のもと開催しました。

今回は中央労福協の笹森会長を招き、「労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史を学ぶ」と題して講演会を行いました。戦後の日本の置かれていた状況から、どのような流れの中で労働組合が結成されてきたのか、それに伴ってなぜ労金を作るようになったのか、ろうきんと労働組合がどのような関係で歴史を築いてきたかを、笹森会長から丁寧に、パワーポイントを使いながら、



▲わかりやすく説明する笹森会長

わかりやすく約2時間の時間をかけて説明を行ってもらいました。気づいてみれば非常に長時間の講演となりましたが、時間を感じさせない内容でした。当初、若年層の組合員が多いことか

ら、「内容が難しいのではないか」と不安に感じていましたが、若年層組合員にも非常にわかりやすかったと好評な講演会でした。

最後に、「働いている人が自ら働いている人のために作った金融機関」が『ろうきん』であり、この『働いている人のために』の意味をしっかりと受け止め、考えながら仕事を行って欲しい」と訴えられ、集会に参加した全組合員にとって、私たちが今後、なにを考えて取り組みをしていかなければならないか、を考えさせられた有意義な講演会でした。

医療法人社団
熊本労安会

秋津レークタウンクリニック

いのちと健康が
なによりも大切にされ
一人ひとりが
かけがえのない
存在として尊重される
そんな医療と社会を
めざしています

■診療科目／内科、小児科、神経科、リハビリテーション科

- 理事長／木村孝文
- 院長／山口秀樹
- 入院／無
- 駐車場／有

午前 月曜日～土曜日／9:00～12:00
午後 月曜日～金曜日／2:00～6:00
土曜日／1:30～3:00
※ただし、木曜の午後と土曜日の午後は
鍼灸はお休みです。
休診日／日曜日・祭日

〒861-2105 熊本市秋津町秋田3441-20 ☎368-6007

今秋
彩りの旅路
ご案内

安心の現地添乗員同行

全
コース 10名様より
催行保証

おいでんか! 高知と
鳴門観潮船 (3日間)

富士・伊豆・箱根・鎌倉
ベストシーズン (3日間)

日光東照宮・水戸偕楽園
善光寺お戒壇めぐり・江戸と
草津・鬼怒川 (3日間)

アルペン・黒部トロッコ
列車と上高地・
世界遺産 白川郷 (3日間)

世界遺産 高野山と
熊野古道・伊勢南紀 (3日間)

平泉・中尊寺・松島・
蔵王など
みちのく周遊 (4日間)

そのほかにもコースはたくさん
そろえております!

主催:近畿日本ツーリスト

お問い合わせは



生協
法人 **ユニオントラベル熊本**

TEL(096)371-2022
FAX(096)363-2866

熊本市九品寺1丁目17-9 熊本県知事登録2-34号 総合旅行業務取扱管理者 松永裕子

編集後記

■全国各地に子育て支援、高齢者介護、生きがいづくり、多重債務問題などの相談窓口があります。この活動領域が労働組合の本来の任務なのか、疑問を感じていた3ヵ月前の私でした。しかし、労働者福祉活動の任務を与えられ、いろんな研修を積み重ねていく中で、様々なNPO・非営利組織が地域に根ざした多彩な活動を展開している状況と、労働組合や労働者福祉協議会のこれまでの歴史や経験、組織、人材などを生かして連携と協同を推進することで、地域でのコーディネーター役を果たすことができ、ネットワーク作りが可能になると確信しました。12月1日 目途のライフサポートセンター設立に向け、とにかくやるしかない」と決意した晩夏です。(Y)